

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
クリティカルケア論		BNNSS4L31	30702	2前	1(30)	必修
担当教員	田口 豊恵	実務歴	有	看護師として病院に13年勤務		
担当教員	田村 葉子	実務歴	有	看護師として病院に10年勤務		
概要	クリティカルな状況にある患者および家族を全人的に理解し、看護を提供するためのエビデンスの獲得、クリティカルケア看護の場に必要となる技術を修得できる。また、クリティカルな患者の主要病態に応じた看護についてグループワークを通して討議できる。					
学修目標	1)クリティカルケアの対象とその特徴について説明できる。 2)クリティカルケアの場における看護の目的と役割が説明できる。 3)患者の生命維持、二次障害の予防、QOLの向上をめざした看護について説明できる。 4)BLS、ALSに必要な技術を実践・評価することができる。 5)クリティカルな患者の主要病態に応じた看護についてグループワークを通して討議できる。					
DPとの対応			人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容(番号は教科書)		
1	クリティカルケア看護の専門性とチーム医療			①P2-10、P31-221を講義前後に読む		
2	クリティカルな状態にある患者・家族の特徴と看護			①P10-23、P267-270を講義前後に読む		
3	プレホスピタルケアの重要性と看護師の役割			② 第1章～3章を講義前後に読む		
4	クリティカルケア看護における家族への代理意思決定支援			①P10-23、P40-51を講義前後に読む		
5	クリティカルな患者の主要病態に応じた看護 GW①			①多発外傷、急性冠症候群、急性呼吸不全、脳障害の症状、病態生理、治療をグループで学修した後、事例をあげて必要な看護について発表する。 ②グループワークの発表後、補完講義を行う		
6	クリティカルな患者の主要病態に応じた看護 GW②					
7	クリティカルな患者の主要病態に応じた看護 発表①					
8	クリティカルな患者の主要病態に応じた看護 発表②					
9	クリティカルな患者の主要病態に応じた看護 まとめ					
10	クリティカルケアの場にはいかなる補完代替療法			マッサージのもたらす効果についてまとめておく		
11	心肺蘇生法BLS&ALS(二次救命処置)①			② P164-196を読んでおくこと		
12	心肺蘇生法 ALS(二次救命処置)②			② P164-196を読んでおくこと		
13	事例討議①(グループワーク)			クリティカルな状態にある患者・家族の事例		
14	事例討議②(グループワーク)					
15	事例討議②(発表)					
使用テキスト	①道又元裕他(2020)『系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学』医学書院。 ②山勢博彰他(2018)『系統看護学講座 別巻 救急看護学』医学書院。					
参考図書	講義内で紹介する。					
成績評価基準	定期試験100%					